

## 第20回「地域の会」定例会資料

前回(12/2)以降の動き

### 【公表関係】

- ・ 12月17日 6号機における保安規定違反の事象と再発防止策に関する報告書の提出について  
( 詳細については別紙プレス発表文にて )
- ・ 1月7日 1号機における一時的な出力変動について  
( 1月6日午後5時8分頃、一時的に電気出力が約112.5万キロワットから約114.5万キロワットへ変動しました。出力変動の原因は、タービンの回転数をコントロールする制御装置の一部が故障し、その計画的な復旧作業(故障した電子基板の取り替え)にともない、タービンへの流入蒸気量を制御する弁の開度が一時的に変化したものです。 )
- ・ 1月12日 柏崎刈羽原子力発電所補助ボイラーの定期事業者検査の開始遅延について  
( 当所の補助ボイラーについては、平成15年12月22日に経済産業省より平成17年1月11日までにボイラーを停止して定期事業者検査を実施する旨の承認を得ておりましたが、本日、定期事業者検査を開始しなければならない1月11日を経過していたことがわかりました。当該補助ボイラーは、本日午後6時50分に停止いたしました。今後、直ちに定期事業者検査を開始するとともに、定期事業者検査開始の遅延原因についての調査ならびに再発防止策を講じることといたします。 )
- ・ 1月13日 柏崎刈羽原子力発電所補助ボイラーの定期事業者検査の開始遅延に係る原子力安全・保安院からの指示について  
( 経済産業省原子力安全・保安院より、定期事業者検査を所定の時期に開始しなかったことに対し嚴重注意を受けるとともに、原因調査ならびに対策について速やかな報告を求める旨の指示文書を受領いたしました。 )
- ・ 1月17日 3号機の定期検査開始について  
( 1月18日から、柏崎刈羽原子力発電所3号機(沸騰水型、定格出力110万キロワット)の第8回定期検査を開始いたします。 )

- ・ 1月17日 7号機における原子炉補機冷却水ポンプ(B)の不具合について

1月16日午後11時40分頃、タービン建屋をパトロール中の運転員が運転中の原子炉補機冷却水ポンプ(B)で異音を確認しました。このため、同日午後11時52分、保安規定に定める「運転上の制限」からの逸脱を宣言し、当該ポンプを停止いたしました。その後、保安規定に基づき、同ポンプが不調の場合に要求される措置を実施し、問題がないことを確認しております。調査したところ、軸受油の飛散防止カバーがゆるみ、ポンプ側のカバーと接触していた痕が確認され、これにより異音が発生したものとわかりました。

- ・ 1月17日 7号機における原子炉補機冷却水ポンプ(B)の不具合の復旧について

本日、当該ポンプで確認されたボルトのゆるみによる軸受油の飛散防止カバーの位置ずれ、およびこれによるポンプ側カバーとの接触痕はあったものの、ポンプに影響を与えるような異常がないことを確認し、ゆるんでいた飛散防止カバーを元の位置に戻し締め付けを行いました。その後、同ポンプの確認運転を実施し、その結果が良好であったことから、本日午後2時52分、「運転上の制限」を満足していることを確認いたしました。

以 上